

学校で見かける **生きもの** が **隠** れているよ!
いくつ見つけれられるかな。
答えは: **う** らを確認してね!

木は沢山の生きものを育っているんだ。葉っぱや幹にあたった風が土の中の根の先まで運ばれて、地下に住んでいる生きものも息ができるようになるんだよ。木がなくなると、鳥も虫も動物たちも生きていけなくなってしまう。

大きな木は根っこが地下に水を保って、地上と地下の空気を循環させて、暑い日は涼しく、寒い日は暖かくしてくれるんだよ。

大きく伸びた枝や葉っぱが涼しい木陰をつくり、強い風をやわらげてくれる。木の形を鏡に写したみたいに土の中で根が反転した形になっているんだよ!



桜の木と一緒に引っ越したセミの卵、抜け殻を見つけたよ!

2023年 7月23日 晴れ
校庭の気温を3箇所で測ってみました。
この日の気温 最高 33.4℃
最低 22.5℃

時間	地面から高さ	日のあたる校庭	二松の木陰	仮移植帯
9:46	30cm	34.2℃	33.3℃	32.6℃
~	1m	34.8℃	33.0℃	32.5℃
10:17	1.5m	34.6℃	32.9℃	32.4℃
14:10	30cm	40.4℃	37.5℃	36.2℃
~	1m	41.8℃	38.5℃	36.0℃
14:48	1.5m	41.9℃	39.0℃	35.8℃
16:29	30cm	38.1℃	36.4℃	35.4℃
~	1m	38.9℃	35.9℃	35.5℃
16:50	1.5m	39.1℃	35.8℃	35.4℃

同じ時間帯の最高気温差:6.1℃差となりました。

※仮移植帯:校庭東側に伐採予定だった樹木を仮移植しています。

国立二小の改築工事に伴い約40本の樹木を仮移植しています。

大きな木があるところに生きものは住んでいるんだよ!

どうして樹木の引っ越しをしたの？

二小の改築工事で100本もの木が伐られることになってしまいました。でも「どうにか残せないか」と保護者と市民が、木や大地のお医者さん（環境再生医）の矢野智徳さんに相談。職人さんたちが集まって、最初に伐られる予定だった40本を別の場所に移してくれました。

大きな木を伐ってしまうとどうなるの？

「何十年もその地に根を張った大木は、地上と地下の空気と水の循環を支えて、あらゆるいのちを育み、環境を守っているんです」と矢野さん。地上に枝を張っているのと同じように、木は地下に根を伸ばし、そこは空気と水の通り道に。鳥や虫、大きな動物から微生物まで、ほとんどの生きものは、木のそばで暮らしています。中でも大きな木は暑さをやわらげ（都内の大きな公園では地面を6~7℃も低くしてくれます！）強い風を防ぎ、大雨の時も大地を安定させて、防災にも大きな役割を果たします。

新しい木を植えれば良いのでは？

大木の力は、植えられたばかりの若い木とは桁違い。若い木が育って同じ力を持つまで数十年かかります。物と違って、自然は簡単にすり替えることができません。人間だってそうですよね。でも「今ある大木を残して若木と一緒に植えてあげることで、若木を支え、大木も元気になる（矢野さん）」

そうは言っても寿命があるのでは？

木の寿命は、人が植えたものだと、その環境と手入れの仕方次第です。桜の中でも短命と言われるソメイヨシノも、弘前城には100歳を超えるものが300本以上あります。福島の三春滝桜は樹齢千年！二小にはソメイヨシノ以外にももっと長寿の桜や木がたくさんあります。



古い樹は移植に耐えられるの？

いろいろな例があります。

桜の木

岐阜県ではダムで沈むはずだった樹齢450年の「荘川桜」を高台に移植。今では樹齢を500年にのばし高さも20メートルになり毎年満開の桜の花を咲かせています。

イチヨウの木

日比谷公園の「首かけイチヨウ」は樹齢300年の時に今の場所に移植されました。今では樹齢400年以上です。

オリーブの木

海を越えてスペイン・アンダルシア地方から1000キロ離れた香川県小豆島に樹齢1000年のオリーブの木を移植した例もあります。

台風が来ても大丈夫？

引っ越しをした木は、高さ3~5mまで剪定され、そこにもともとあった木と一緒に自立しながらも支え合うように、垣根のような形で立っています。一本あたり5本以上の木の杭が打ち込まれ、杉の原木支柱を斜めに入れて固定しています。木は生きものなので、矢野さんをはじめ職人さんたちが継続して木の状況をチェックすることで安全を守っています。

これからの予定は？

2024年7月くらいに新校舎が完成するまでに、国立市教育委員会と相談して木の行き先を決めて、また引っ越しをします。できるだけ新しい校庭に戻してあげられたらいいなあと思っています。

もう一度 木かけで遊べる校庭に！

答え：生きものは8種類（イトトンボ・てんとう虫・モンシロチョウ・アリ・アオスジアゲハ・しじゅうから・ヒキガエル・ヤモリ）

~つづく つながる~
くにたちみらいの杜プロジェクト
mirainomori2023@gmail.com
042-574-0163 (佐藤)

